

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. 182

エントリー学校名：

神奈川県 横須賀市立不入斗中学校

活動名： ※どのような課題をどのような手法で解決したのか、わかりやすく伝える活動名を記入してください。

魅力ある学校づくり

～ 生徒によりそった指導の実践 ～

解決すべき課題：

本校は長欠生徒や相談室、保健室登校の生徒が多数存在しており、生徒一人ひとりに支援を必要することが多い。そのため、生徒に必要な支援を学校全体を通して考えて実践し、一人ひとりに寄り添った指導をしていく必要がある。

目標・方針：

生徒一人ひとりが学習面、生活面などにおいて離脱することがなく、人間関係を円滑に行うことができるような集団作りを行えるようにする。

活動内容：

生徒全員に簡単なアンケートを複数回とる。その結果から教職員がどのような努力が必要か考え、実践していく。また、集団を対象とした支援だけでなく、生徒一人ひとりを考えた支援を行っていきけるよう、教職員がチームとなって支援に当たれるようにしていく。

活動の成果：

本校は今年度、「魅力ある学校づくり」という取り組みを、神奈川県教育委員会から委託を受けた。アンケートをとり、その結果をもとに学校全体で情報共有し、生徒に対してどのような支援をすればよいか検討し、実践を行った。まだ、1回(9月28日現在)しかアンケートを取ることができていないが、右の図のような結果となった。その結果を受け、項目ごとに達成度(%)を学年ごとに検討し、目標値を達成するための手立てを考え、実践を行っている。まだ、成果という成果は出ていないが、職員一人ひとりが生徒一人ひとりのことをしっかりと考え、チームとして支援に当たることができている。今後、より細かいアンケートをとり、生活アンケートや二者面談の結果をもとにして、より一人ひとりを大切に生徒によりそった指導を行っていきたいと考えている。

アピールポイント(アイデアや工夫)： ※3～5つ程度、箇条書きしてください。

- ・特別なことはせず、現在行っている指導目標をより明確にしているため、教職員の負担にならずに継続することができる。
- ・学年や部会など、チームとして生徒のことを考えるため、多くのアイデアがある中で支援をすることができる。
- ・学習支援、生活支援、友達関係、生徒指導など様々な観点から生徒一人ひとりを見ることで、一人の生徒だけでなく、結果として生徒全員のための学校づくりになる。

魅力ある学校づくり 意識調査

実施日 <2020年 月 日> < 年生 >

◎この意識調査は「みんなにとって今よりもっと楽しく安心して過ごせる、魅力ある学校を作っていくために」先生たちが学校の取り組みを見直すことを目的に行います。自分が思う通り、素直な気持ちで答えてください。

<質問>

現在の学校生活について、あなたはどのように感じていますか。当てはまるものを右の1～4の中から一つずつ選び、その番号に○を付けてください。

ア	学校が楽しい	1	2	3	4
イ	みんなで何かをするのは楽しい	1	2	3	4
ウ	授業に主体的に取り組んでいる	1	2	3	4
エ	授業がよくわかる	1	2	3	4

不入斗中 学校 第 2 学年 記入者

		「あてはまる」と回答した子供の割合			
		7月	9月	12月	3月
点検	ア	学校が楽しい	45.8%		
	イ	みんなで何かをするのは楽しい	51.4%		
	ウ	授業に主体的に取り組んでいる	43.0%		
	エ	授業がよくわかる	34.5%		

この項目に○(1～2項目)		理由(学年メモ)
ア	学校が楽しい	授業が分からないという生徒が多く、その解決が楽しいにつながると思われる。
イ	みんなで何かをするのは楽しい	
ウ	授業に主体的に取り組んでいる	
エ	授業がよくわかる	

この項目に○(1～2項目)		数値目標(学年メモ)	
ア	学校が楽しい	1年後の3月には、何%が「あてはまる」と答えるような学年を目指しますか。(この項目のみ)	設定しない
イ	みんなで何かをするのは楽しい		47 %
ウ	授業に主体的に取り組んでいる		%
エ	授業がよくわかる		37 %

これまでの調査研究で得られた学年教員の共通理解のポイントを参考までに留意点として示します。

ア 何をもって学校が楽しいとするのか、学年教員で共通理解が図られていますか
 アに関連してイ～エでこの項目を設定する必要がないか、話し合われましたか

イ 楽しいと感じさせるのは行事中心か、授業までつなげるのか、話し合われましたか
 主体的な取組には、態場所づくりより絆づくりが重要だと共有できていますか

留意点 ウ 何を持って主体的とするか、共有しましたが、また、子供たちに示しましたか
 取り組の内容は教科や担任任せますか、学年で統一した取組を行いますか
 ウとエを混んだ場合、ウからエへとつなげますか、それとも逆、または同時ですか、
 取り組の内容は教科や担任任せますか、学年で統一した取組を行いますか

不入斗中 学校 第 3 学年 記入者

		「あてはまる」と回答した子供の割合			
		7月	9月	12月	3月
点検	ア	学校が楽しい	50.5%		
	イ	みんなで何かをするのは楽しい	54.5%		
	ウ	授業に主体的に取り組んでいる	35.6%		
	エ	授業がよくわかる	19.8%		

この項目に○(1～2項目)		理由(学年メモ)
ア	学校が楽しい	できない問題ができるようになった、今までより分かるようになったなど、生徒の学習意欲を喚起できるようにしていく。
イ	みんなで何かをするのは楽しい	
ウ	授業に主体的に取り組んでいる	
エ	授業がよくわかる	

この項目に○(1～2項目)		数値目標(学年メモ)	
ア	学校が楽しい	1年後の3月には、何%が「あてはまる」と答えるような学年を目指しますか。(この項目のみ)	設定しない
イ	みんなで何かをするのは楽しい		%
ウ	授業に主体的に取り組んでいる		70 %
エ	授業がよくわかる		40 %

これまでの調査研究で得られた学年教員の共通理解のポイントを参考までに留意点として示します。

ア 何をもって学校が楽しいとするのか、学年教員で共通理解が図られていますか
 アに関連してイ～エでこの項目を設定する必要がないか、話し合われましたか

イ 楽しいと感じさせるのは行事中心か、授業までつなげるのか、話し合われましたか
 主体的な取組には、態場所づくりより絆づくりが重要だと共有できていますか

留意点 ウ 何を持って主体的とするか、共有しましたが、また、子供たちに示しましたか
 取り組の内容は教科や担任任せますか、学年で統一した取組を行いますか
 ウとエを混んだ場合、ウからエへとつなげますか、それとも逆、または同時ですか、
 取り組の内容は教科や担任任せますか、学年で統一した取組を行いますか